

府 薬 第 311 号

平成30年12月18日

病院診療所薬剤師部会
薬剤部門責任者 各位

一般社団法人 京都府薬剤師会
会長 川勝 一雄
(公印省略)

入退院支援に関する事例収集について (お願い)

平素より当会の活動にご高配を賜りまして御礼申し上げます。

近年、医療機能の分化及び地域包括ケアシステムの推進により、高度急性期病院、急性期病院、回復期病院、慢性期病院や在宅等において、安心して安全な薬物療法を継続的に実施することが求められており、病院間や薬局、介護施設との連携や情報提供が極めて重要であります。しかしながら、現状ではそれらの中での薬物療法に関する連携や情報共有は大きく進んでおりません。

この度、日本病院薬剤師会 薬剤業務委員会では、シームレスな医療連携に必要な薬剤師業務について検討するために、入院・外来医療と在宅医療とを繋ぐ薬剤師の入退院支援業務の事例収集について都道府県病院薬剤師会へ依頼がありました。

つきましては、貴施設での薬剤師の入退院支援業務の事例のご提供を賜りますようお願い申し上げます。

事例記載様式 (別紙) として当会HPにWord版を掲載いたしますので、平成31年2月25日 (月) までに、件名「入退院支援に関する事例【貴施設名】」にて、事務局アドレス (byoyaku2-jimukyoku@kyotofuyaku.or.jp) 宛に、添付の上お送りいただきますようお願い申し上げます。

本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

京都府薬剤師会HP

トップページ→京都府病院薬剤師会→京病薬からのお願い
(事例記載様式Word版・報告例PDF版)

<問い合わせ先>

京都府薬剤師会 病院診療所薬剤師部会 事務局 長谷川

TEL 075-551-0376 ・ FAX 075-525-1650

送付先アドレス : byoyaku2-jimukyoku@kyotofuyaku.or.jp

入退院支援の事例記載様式

都道府県	
施設名	
薬剤部門責任者	
記入者	
連絡先	
入退院支援項目	
実施する目的	
薬剤師の役割	
診療報酬上の評価	
業務内容 実施プロセス	
入退院支援ツール	
具体的な成果・効果	
成果等を発表した学会および成果等と関連した学会発表	
成果等を報告した論文・雑誌および成果等と関連した論文・雑誌	

報告例

入退院支援の事例記載様式

都道府県	岡山県
施設名	岡山大学病院薬剤部
薬剤部門責任者	千堂 年昭
記入者	猪田 宏美
連絡先	E-mail: okaza-h@okayama-u.ac.jp TEL: 086-235-7510
入退院支援項目	<input checked="" type="checkbox"/> 入院支援 <input type="checkbox"/> 退院支援 <input type="checkbox"/> 入・退院支援
実施する目的	入院・退院支援の質の向上および外来・病棟業務の効率化
薬剤師の役割	入院予約をした外来受診日に、薬剤師と看護師が協働し、患者の情報収集および入院説明を行っている。その中で、薬剤師は、使用中の薬剤について情報収集を行う。
診療報酬上の評価	<input type="checkbox"/> 入退院時支援加算 <input type="checkbox"/> 多機関共同指導加算 <input type="checkbox"/> 退院時共同指導 1 <input type="checkbox"/> 退院時共同指導 2 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> なし
業務内容 実施プロセス	<u>業務内容ならびに業務フローチャートを記載してください</u> (対象患者・実施場所・業務内容・多職種等の連携等) 対象患者：消化器内科、糖尿病内分泌内科・腎臓内科・リウマチ膠原病内科、循環器内科へ入院予定の患者 実施場所：外来診療棟入院支援室（薬剤師と看護師が常駐） 業務内容： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"><p>看護師</p><ul style="list-style-type: none">1) 入院のしおり説明2) 患者基本情報収集3) 入院前スクリーニングシート各種入力<ul style="list-style-type: none">① 退院計画リスクスクリーニングシート② 転倒転落アセスメントシート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"><ul style="list-style-type: none">4) アレルギー歴の確認5) 使用中の薬剤を確認 薬剤師</div>
	業務フローと他部門との連携：

<p>入退院支援ツール</p>	<p>なし</p>
<p>具体的な成果・効果</p>	<p><u>患者数、算定件数などのプロセス評価や業務の効率化、患者満足度の変化など成果・効果を記載してください</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来で薬剤師による面談を行うことの効果 <p><病棟業務への影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院前に薬物治療に関する問題点をあらかじめ抽出しておくことで、入院してから病棟薬剤師が薬物治療への介入をスムーズに開始できるようになった。得られた情報は、薬剤管理指導記録に準じた形でカルテに記載をしている。 <p><休薬が必要な薬剤の確認></p> <p>薬剤師は、得られた処方情報を薬学的な観点から評価し、入院および治療に向けて、休薬が必要な薬を確認している。入院後では、休薬期間が不十分になる場合も多く外来時点で確認ができることが利点である。</p> <p><アレルギー歴の情報収集></p> <p>アレルギー歴については詳細を聞き取り、外来の時点で電子カルテへ登録をすることで医師による処方オーダーをシステム上で不可能にすることができる。</p> <p><看護師との協働></p> <p>看護師は、転倒転落アセスメントシートを記入している。アセスメン</p>

	<p>トシートには、薬剤に関する項目があり、薬剤師はアセスメントシート作成の補助を薬剤師が行っている。</p> <p>・入院支援室対応患者とプレアボイド報告件数</p> <table border="1" data-bbox="475 483 1257 719"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 483 635 577">年度</th> <th data-bbox="635 483 1007 577">入院支援室対応患者 件(月平均)</th> <th data-bbox="1007 483 1257 577">プレアボイド報告 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 577 635 622">2015</td> <td data-bbox="635 577 1007 622">113 (12月のみ)</td> <td data-bbox="1007 577 1257 622">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 622 635 667">2016</td> <td data-bbox="635 622 1007 667">1,718 (143.2)</td> <td data-bbox="1007 622 1257 667">17</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 667 635 719">2017</td> <td data-bbox="635 667 1007 719">2,321 (193.4)</td> <td data-bbox="1007 667 1257 719">37</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入院支援室対応患者 件(月平均)	プレアボイド報告 件	2015	113 (12月のみ)	1	2016	1,718 (143.2)	17	2017	2,321 (193.4)	37
年度	入院支援室対応患者 件(月平均)	プレアボイド報告 件											
2015	113 (12月のみ)	1											
2016	1,718 (143.2)	17											
2017	2,321 (193.4)	37											
<p>成果等を発表した学会および成果等と関連した学会発表</p>	<p><u>発表演題名、学会名、発表年度を記載してください</u></p> <p>岡山大学病院における入院支援室の現状と課題, 日本医療マネジメント学会 第19回 岡山県支部学術大会 (2017)</p>												
<p>成果等を報告した論文・雑誌および成果等と関連した論文・雑誌</p>	<p>なし</p>												